

# 保護者の皆様へ 附属特別支援学校長だより

NO. 2  
令和3年(2021)5月25日  
発行：大阪教育大学  
附属特別支援学校  
校長 須田 正信

## 電子連絡帳の運用開始に向けて 教職員で「テモ研修」の実施

### 保護者の皆様へ

今年度の新たな取り組みとして家庭と学校をつなぐ「電子連絡帳」に取り組みます。それに先駆けて、15日(土)に教員間で保護者役と先生役になって演習を行いました。この電子連絡帳については、保護者の皆さんに説明会を開催します。今後の運用に関してご理解していただけるようにお願いいたします。連絡帳の役割は、家庭での子ども様子を学校の教師に伝達するものとして支援教育においては従来から重要なものとして活用してきました。昨今のインターネットの普及と共に家庭と学校をネットをつないで情報を共有する方策の一環としてご理解していただければと思います。



■電子連絡帳の共有画面です。先生と家庭がこの画面を共有して情報を書き込みます。基本情報として「熱・睡眠・用便・食事・伝えたいこと」などが簡便に書き込めます。



■教員の研修風景 各学部に分かれて役割交代して研修しました。

保護者の皆さんにとっては、「電子連絡帳とは何か、どのように活用するのか、その仕方は」という様に不安要素があることと思います。そこで、各学部で保護者研修会を設けますので、その際に疑問点について説明します。運用を行うっていく中で質問等ありましたら担任を介してお聞きください。情報の共有として日々の子ども様との共にプールの学習の検温や行事などの連絡、学校からの配布物の電子化など多義にわたりますが、今後、保護者の皆さんからのニーズをお聞きして対応できる範囲を決めて行きたいと思っております。

## ■大学教育実習及び教職 大学院の学校実習について

今年度も大学からの教育実習やインターンシップが始まります。既にインターンシップの学生は金曜日に各学部で体験実習が始まっています。教育実習は秋の実施ですが、オリエンテーションが3回に分けて6月に実施されます。また、教職大学院の院生の「学校実習」については、6月末から始まりま

す。この「学校実習」は教育実習とは違い、教員免許を持っている院生が特別支援教育の研究を本校で実践する形態です。M2が2名、M1が5名です。それぞれの学部配当されます。春期と秋期それぞれ約3週間となります。よろしくお願いいたします。

特別支援学校教育実習・インターンシップ  
・介護等体験実習学生のためのリーフレット

教職を目指す学生の  
皆さんへ

Society5.0 時代に対応した教師を目指して

障がいのある子どもの理解と  
共生社会の実現に向けて



大阪教育大学特別支援教育部門  
〒598-8601 大阪府堺市東区大宮1-1-1

# 新型コロナウイルス蔓延「緊急事態宣言」の期間等について

新型コロナウイルス感染症防止に係る「緊急事態宣言」が5月31日までとなつていきます。しかし、感染の終息にはいまだ至っていない状況です。この緊急事態宣言期間についても、現時点でどうなるか不透明ですので注視してください。期間延長された場合、行事や今後の取り組みについて再度文書で通知する予定です。

## ■大学からの附属特別支援学校での介護等体験実習について

例年行われている「介護等体験実習」ですが、今年度はコロナ感染防止の観点から大学の方針として「取り辞め・縮小」になります。その結果、年間約600人程度の学生が来校しなくなります。児童生徒や学生にとってもお互いに触れ合う機会がなくなります。残念ですがご理解ください。

## 附属十一校 PTA研修会

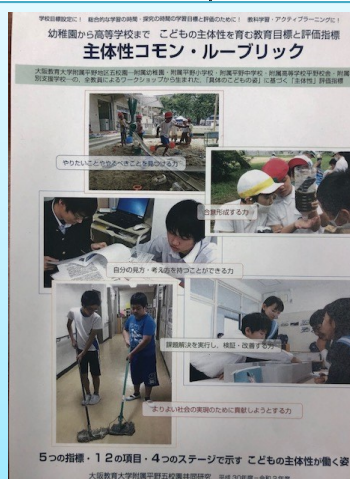
29日(土)

今年度の十一校園のPTA研修会についてです。今年度は29日に予定されていますが、緊急事態宣言下なのでリモートでの開催となります。従来ですと、柏原キャンパスに一堂に会して各学校の活動や新役員の紹介などがありますが、会長からリモートにて紹介を願います。全体講演として前事務局長の新任理事よりリモートでの講演があります。参加できる人はリモートにて講演に参加してください。

- 日時 5月29日(土)  
午前10時30分～12時
- ZOOMを用いたオンライン形式
- 第1部 講演  
演題「教育改革の教育情報化の重要性」  
講師「愛知教育大学理事・副学長」  
(前)本学事務局長
- 第2部 情報交換会・各校活動交流  
\*本校PTA会長の坂本さんから「本校のPTA活動について」報告をしてもらう予定です。

## 平成30年度～令和2年度 平野五校園共同研究 の成果について

平野五校園のこの3年間の共同研究成果物として写真にもあるように「一人ひとりの多様な可能性を広げる評価の在り方」を冊子として作成しました。併せて幼稚園から高等学校まで活用できる「主体性」モン・ルーブリック」を作りました。附属特支の子どもの活動の様子も載せています。



## 令和3年度 平野五校園研究協 議会の主幹校として

附属平野五校園が例年共通の研究テーマを設けて研究協議会を開催しています。今年度は、本校が主幹校となります。今年度からの研究テーマは「一人ひとりの多様な可能性を広げる評価の在り方」(モン・ルーブリック)の活用です。プログラムと学習評価のモデル開発をめざしてと題して取り組みます。平野地区における目指す子ども像と探究活動の一年目の計画を表に示しました。

